

委員会の動き

○経済産業常任委員会

総務産業常任委員会調査報告書

総務産業建設常任副委員長 三谷幸一郎

2月19日に南国市消防本部軽自動車の救急車配備の調査を行った。

平成24年9月から、県内初となる軽自動車の救急車を配備している。高齢化が進む中山間地を中心に高規格型救急車の通れない道を通り入れ、傷病者宅へ行くことができ、時間ロスの大きい人力搬送を省き、玄関から救急車への収容態勢を整え、現在まで4件救急搬送を行っていた。

本町を含め嶺北地域は未改良の道路が多い中、近年の救急車は大型化されて傷病者宅まで乗り入れができない集落があると聞く。このような地域で生活を余儀なくされている住民が、安心して暮らせるために救急搬送体制、機能の強化を図る一環とし、加えて「ゆとりすとカントリーおおとよ」の政策の具現化のため、嶺北消防署と大豊分署へ軽救急車配備を望む。



軽自救急車



意見書

提出者：総務産業建設常任委員長 佐藤 徳治

燃料関係の課税免除措置の恒久化等を求める意見書

(賛成者・全員)

軽油引取税における課税免除措置は、これまで農家の経営に貢献してきたが、地方税法の改正によって、このままでは平成26年3月末で廃止される状況にある。加えて昨年末以降、施設園芸用A重油の価格は急騰しており、持続的発展が可能な農業の中心となる大規模経営を導入しているような担い手農家ほど農業用加温用A重油をはじめとする燃料の使用量は多くすでに経営努力では賄いきれない燃料・資材等の価格高騰が続いている。一方で、そのコストを価格転嫁できず逆に農産物の価格下落が起きており、大変厳しい経営環境にある。現行の燃料関係の税制措置がなくなれば、今でさえ困難な農業経営への負担は避けられず軽油及びA重油を大量に使う畜産農家や園芸農家ははじめ、農業経営への影響は深刻であり制度の継続は、地域農業の振興と食料自給率を向上させる観点からも有効で、その継続が強く望まれているため、軽油引取税の課税免除措置及び農林漁業用A重油に対する特例措置の恒久化などについて内閣総理大臣等へ意見書を提出する。

委員会の動き

○教育民生常任委員会

教育民生常任委員会調査報告書

教育民生常任委員長 重森 一宗

2月20日に大豊町社会福祉協議会の現状と課題、怒田集落ミニデイサービス等の調査を行った。



怒田ミニデイ

大豊町社会福祉協議会は、昭和38年11月19日に財団法人「大豊村社会福祉協議会」として設立され、人びとが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現を目指して様々な活動を行っている。

少子高齢化が全国的な問題になっているが、その先頭を走る本町においては、今以上の高齢者対策が必要になってくることは必然的であり、社会福祉協議会の役割に期待するものがある。しかし、社会福祉協議会にお世話になる高齢者は、広い地域に点在していることから、介護事業を行う上で効率の低さにつながっている。特に冬季積雪等でサービスでの車の移動に危険が伴うことも多く、介護対象者の共同住宅の設置も必要であると思慮する。

怒田集落ミニデイサービスには高齢者18人とボランティア2人の参加者であった。社協職員による高齢者との話し合いを通して血圧測定等の健康診断を行い、加えて社協持参の椅子で生き生き体操などが行われていた。

ミニデイ参加者は日ごろ一人暮らしが多く、その解消がミニデイの目的でもあり、参加者も共に話すことを楽しみにしている。当日は商工会長から宅配サービスの説明も行われており、高齢者の貴重な情報交換の場所にもなっている。今後ミニデイサービスの活動を拡充することが、高齢化対策充実につながるようになるが、現状はボランティア活動に助けられる所が多く、より充実した内容にするために町としても人員・経費に対する補助等を検討する必要があると思慮する。

現在、本町で住み慣れた山村で暮らすことのできる「みんな健やか」地域づくりの一翼を担うのが大豊町社会福祉協議会と言えるのではないかと。

編集後記



5月に入り山々は新しい芽吹きが始まり、生き生きとした季節となりました。そこに住む私たちまでもが、次に向かって力強く踏み出していこうと思うよう躍動感にあふれ、一年中で最も過ごしやすい季節到来です。大豊の山々や川岸にも多種でたくさんの花々が咲き誇り、多くの観光客の皆さんのお越しをお待ちしております。大豊の里山がにぎわい大いに大自然を満喫してもらいたいと願っております。今年3月に広報編集特別委員会の組織替えがありました。新しくも前回と全く同じメンバーとなりました。

議会広報誌は主権者である住民の皆さんに対する議会活動の報告書であり、住民と議会を結ぶ太いパイプであると認識しております。今までも増して、読みやすく、分かりやすい広報誌作りを目指そうと、一同張り切っておりますので何とぞよろしくお願いたします。

記 三谷幸一郎

広報編集特別委員会

- 委員長 三谷幸一郎
- 副委員長 小川 智也
- 委員 前野 由和
- 委員 佐藤 徳治
- 委員 都築 正光

【ご意見やご感想は】
大豊議会事務局

電話 72-0450 まで